

人間らしく文化的な生活には月25万円が必要!

# 東京での生計費はいくらかかる?



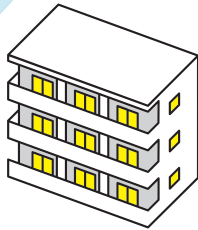
8時間働いて人間らしく暮らすためには

今すぐ時給 **1500円**以上

めざせ **1700円**以上

が必要です

## 東京都北区在住 Aさんの場合



25歳单身、賃貸マンション(25㎡)  
**57,000円/月**



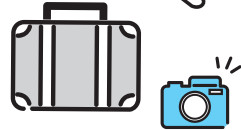
飲み会、お茶会は  
月2回 1回 **3,000円**  
新年会、忘年会、歓送迎会  
年2回 1回 **5,000円**



週一回は買い物、映画、演劇、音楽など  
1回 **2,000円**



贅沢をしなくてもこんなに  
かかります



1年間の旅行の費用は  
**90,000円**  
(帰省を含む)

昼ごはんは弁当持参  
一週間に2回くらいは  
コンビニで弁当やパン



年1回の冠婚葬祭  
**50,000円**

消費支出	179,804円
非消費支出	51,938円
予備費	17,900円

最低生計費(月額・税込) **249,642円**  
年額(税込) 2,995,704円 時給(税込) 1,664円

(月150時間換算 7.5時間×20日)

# 最賃大幅引き上げ

# 全国一律制に

# 中小企業支援を



わたしたち労働組合と **いっしょに声を上げよう**

# 東京春闘共闘会議

〒170-0005  
東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館6F  
tel: 03-3943-6483 fax: 03-5395-3240

(2024.6@27,000)

# 時給1500円以上の実現へ

1700円  
めざそう!!!!

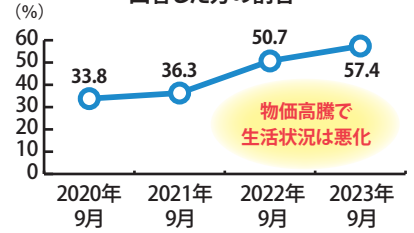
## なぜ最賃アップが必要?

いちばん高い東京都の最低賃金でも  
**時給1113円**。月に150時間働いても  
月収約16.7万円、年収約200万円。  
低賃金で長時間労働につながることも。

出典:日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」各年より

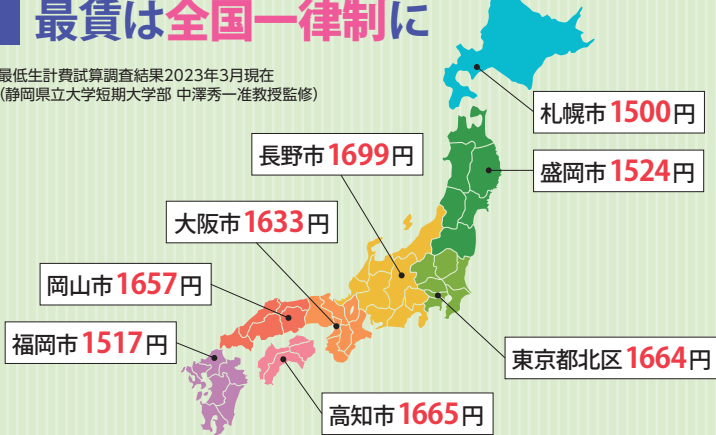


現在の暮らし向きで「ゆとりがなくなった」と回答した方の割合

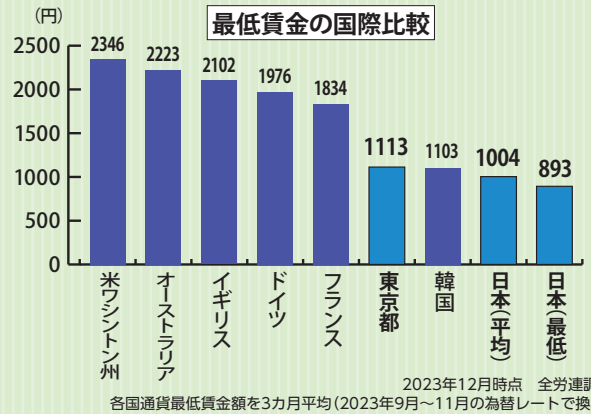


## 生計費は「どこでも」変わらない 最賃は全国一律制に

最低生計費試算調査結果2023年3月現在  
(静岡県立大学短期大学部 中澤秀一准教授監修)



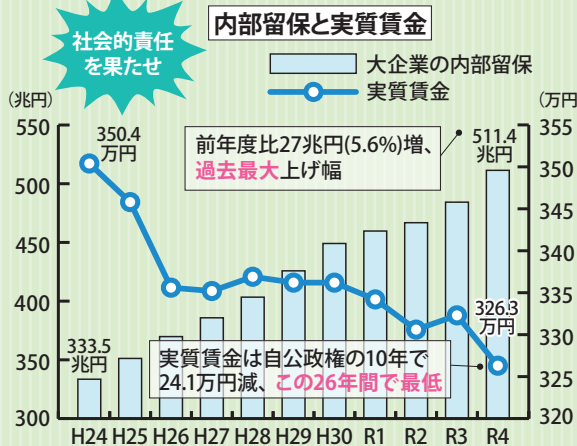
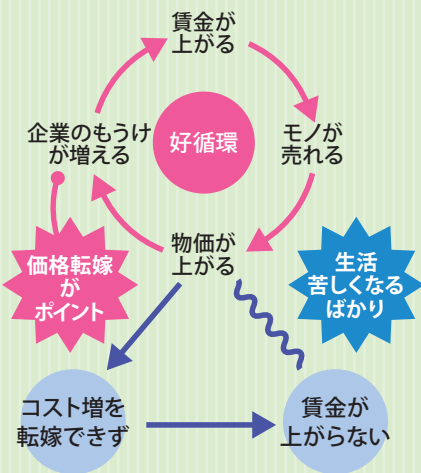
## 世界と比べても、こんなに低い?



## 大企業の支払い体力は充分 大企業は中小・下請企業に人件費の価格転嫁を

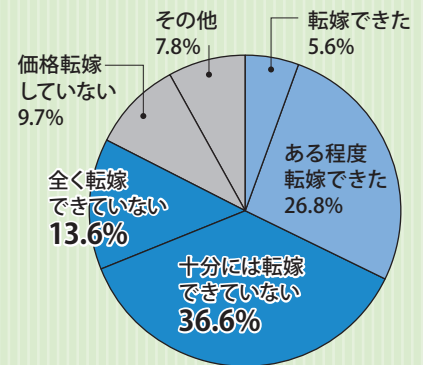
国内企業の99.7%を占め、雇用の7割を生み出しているのが中小企業です。最賃の引上げには手厚い中小企業支援が欠かせません。政府は巨額な内部留保に課税し、公正な取引環境を整え、中小企業支援策を拡充することが重要です。

### 物価と賃金の循環イメージ



資料:内部留保は財務省「法人企業統計調査」の資本金10億円以上の大企業の年度額。実質賃金は厚生労働省「毎月勤労統計調査」の年度ごとの実質賃金を2022年度の現金給与総額を起点に実額化。

### 人件費の価格転嫁の状況について (中堅・中小企業等)



出典:財務省「地域企業における賃上げ等の動向について(特別調査)」(令和6年5月17日)

## 全国一律1500円になったら?



こんなにも  
良いことたくさん

(2022年一般社団法人労働総合研究所調べ)

労働者約50%が賃上げ  
1人当たり4万1400円

税金  
2兆円UP

雇用  
106.6万人創出

暮らしと経済に好循環

最低賃金の大幅引き上げ、中小企業の支援強化で日本経済の再生を